

## 「黒神中学校の文化財探訪の取組」

### 1 学校名

鹿児島市立黒神中学校

### 2 学年・人数

2・3年生（計2人）

### 3 日時・活動場所

月～金曜日 7時45分～8時（噴火により埋没した鳥居の清掃）

令和元年11月17日（日）（噴火により埋没した門柱の清掃）

### 4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

#### （1）名称・時代

噴火により埋没した鳥居（ふんかによりまいぼつしたとりい） 大正3年

噴火により埋没した門柱（ふんかによりまいぼつしたもんちゅう） 大正3年

#### （2）特徴

黒神中学校校区にある、「噴火により埋没した鳥居」、「噴火により埋没した門柱」は共に大正3年（1914）1月の桜島の大噴火に伴って埋没した腹五社神社の鳥居と永野氏宅の門柱である。「埋没鳥居」は、国内はもとより国外からの観光客が多い。この鳥居は黒神中学校と隣接しており、鳥居から続く参道は校内に位置している。黒神中学校は、毎朝のボランティア活動で、全校生徒、職員とで鳥居周辺の清掃活動を行っている。また、今年度は、総合的な学習の時間を活用して、「噴火により埋没した門柱」周辺の環境整備や清掃を行った。

### 5 保存会や地域との連携の具体

本校では、毎朝7時45分～8時まで腹五社神社の埋没鳥居の清掃をボランティア活動の一環として実施している。この活動は、70年間続いており、生徒の誇りとなっている。埋没鳥居がある腹五社神社を所管している地域は、高齢化が進んでおり、毎日の清掃活動を実施することが困難な面がある。降雨時以外は、授業日に本校生徒が清掃を行

っているのです、地域住民より感謝されている。

噴火により埋没した門柱は、地域コミュニティ協議会と連携を図り6月と11月に環境整備を実施した。中でも、11月は、総合的な学習の時間で、地域・保護者と一緒になって、環境整備（周辺の除草や文化財の清掃活動）を行った。

## 6 活用の取組の工夫した点

埋没鳥居の清掃を通して気づいて欲しいことを、全校朝会で提示した。

鳥居の清掃を通して気づいて欲しいこと  
過去を知り、過去からの流れが今の自分たちにどんな影響を与えているのかを知り、これから自分がどんな未来を創造していくかを考える。

埋没鳥居に隣接する小屋（旧社務所）に火山噴火の防災についての取組を掲示し、埋没鳥居の活用を行った。また、草木に覆われていた「噴火により埋没した門柱」の環境整備を行うことで、地域の活性化及び観光客の誘致にも貢献した。

## 7 取組の様子



埋没門柱の清掃



埋没鳥居の清掃

## 8 参加生徒・地域・教職員等の感想・意見

1916（大正3）年の桜島大噴火の実際の状況については、私たちには分からない。しかし、噴火により埋没した鳥居や噴火により埋没した門柱が、当時のことを教えてくれているので、この文化財を残していかなければならないと思った。【生徒の感想】

郷土に残る文化財を通して、郷土の先人たちが、度重なる桜島の噴火を乗り越えて、たくましく生活してきたという事実を再確認することができた。【職員の感想】

子どもたちが地域に伝わる文化財に触れることは、地域にとっても有意義なことである。今後も大切に守っていく気持ちをもっていただきたい。【地域の方から】